

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成24年6月7日(2012.6.7)

【公開番号】特開2011-71726(P2011-71726A)

【公開日】平成23年4月7日(2011.4.7)

【年通号数】公開・登録公報2011-014

【出願番号】特願2009-220790(P2009-220790)

【国際特許分類】

H 0 4 M 11/00 (2006.01)

G 0 6 F 15/00 (2006.01)

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 11/00 3 0 2

G 0 6 F 15/00 3 1 0 D

G 0 6 F 13/00 3 5 3 C

H 0 4 M 1/00 R

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月11日(2012.4.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 又は複数のアプリケーションサーバが複数のアプリケーションを連携するシステムで、それぞれのセッションを共有するセッション共有システムにおいて、

第 1 の通信処理プロトコルを用いて上記各アプリケーションサーバから第 1 のアプリケーションサービスの提供を受ける第 1 の機能処理手段と、

第 2 の通信処理プロトコルを用いて上記各アプリケーションサーバから第 2 のアプリケーションサービスの提供を受ける第 2 の機能処理手段と、

上記第 1 の機能処理手段又は上記第 2 の機能処理手段から取得した上記各アプリケーションサーバとの間で確立したセッション情報を所定形式に変換し、上記第 2 の機能処理手段又は上記第 1 の機能処理手段に与えるセッション情報連携手段と

を備え、

上記第 2 の機能処理手段又は上記第 1 の機能処理手段が、上記セッション情報連携手段からの変換セッション情報を含む要求メッセージを、上記各アプリケーションサーバに送信し、

上記各アプリケーションサーバが、上記要求メッセージに含まれる上記変換セッション情報と、今回の通信処理プロトコルにより生成したセッション情報との対応付けを行う

ことを特徴とするセッション共有システム。

【請求項 2】

上記セッション情報連携手段が、上記各アプリケーションサーバとの間で先に確立したセッション情報を、今回通信する通信プロトコル形式に変換するものであることを特徴とする請求項 1 に記載のセッション共有システム。

【請求項 3】

第 1 のユーザ端末が、上記第 1 の機能処理手段と上記セッション情報連携手段とを備え

、
第 2 のユーザ端末が、上記第 2 の機能処理手段と上記セッション情報連携手段とを備え

、
上記第 1 のユーザ端末の上記セッション情報連携手段が、上記セッション情報を二次元コードに変換し、変換した二次元コードを表示部への表示を行うものであり、

上記第 2 のユーザ端末の上記セッション情報連携手段が、上記第 1 のユーザ端末の上記表示部に表示された上記二次元コードを読み取り、上記セッション情報の復元を行うものである

ことを特徴とする請求項 1 に記載のセッション共有システム。

【請求項 4】

上記各アプリケーションサーバが、確立した上記セッション情報及び自身のサーバ識別情報を付与した情報をユーザ端末に送信するサーバ情報付与部を備え、

上記第 2 の機能処理手段又は上記第 1 の機能処理手段から送信された上記セッション情報及び上記サーバ識別情報を含む要求メッセージを受信し、上記サーバ識別情報に基づいて当該要求メッセージを振り分けるメッセージ振分手段を備えることを特徴とする請求項 1 に記載のセッション共有システム。

【請求項 5】

1 又は複数のアプリケーションサーバが複数のアプリケーションを連携するシステムで、それぞれのセッションを共有するセッション共有方法において、

第 1 の機能処理手段が、第 1 の通信処理プロトコルを用いて上記各アプリケーションサーバから第 1 のアプリケーションサービスの提供を受ける第 1 の機能処理工程と、

第 2 の機能処理手段が、第 2 の通信処理プロトコルを用いて上記各アプリケーションサーバから第 2 のアプリケーションサービスの提供を受ける第 2 の機能処理工程と、

セッション情報連携手段が、上記第 1 の機能処理手段又は上記第 2 の機能処理手段から取得した上記各アプリケーションサーバとの間で確立したセッション情報を所定形式に変換し、上記第 2 の機能処理手段又は上記第 1 の機能処理手段に与えるセッション情報連携工程と、

上記第 2 の機能処理手段又は上記第 1 の機能処理手段が、上記セッション情報連携手段からの変換セッション情報を含む要求メッセージを、上記各アプリケーションサーバに送信する工程と、

上記各アプリケーションサーバが、上記要求メッセージに含まれる上記変換セッション情報と、今回の通信処理プロトコルにより生成したセッション情報との対応付けを行う工程と

を有することを特徴とするセッション共有方法。

【請求項 6】

複数のアプリケーションを連携するシステムで、1 又は複数のアプリケーションサーバにそれぞれのセッションを共有させるセッション共有プログラムにおいて、

ユーザ端末を、

第 1 の通信処理プロトコルを用いて上記各アプリケーションサーバから第 1 のアプリケーションサービスの提供を受ける第 1 の機能処理手段、

第 2 の通信処理プロトコルを用いて上記各アプリケーションサーバから第 2 のアプリケーションサービスの提供を受ける第 2 の機能処理手段、

上記第 1 の機能処理手段又は上記第 2 の機能処理手段から取得した上記各アプリケーションサーバとの間で確立したセッション情報を所定形式に変換し、上記第 2 の機能処理手段又は上記第 1 の機能処理手段に与えるセッション情報連携手段

として機能させ、

上記第 2 の機能処理手段又は上記第 1 の機能処理手段が、上記セッション情報連携手段からの変換セッション情報を含む要求メッセージを、上記各アプリケーションサーバに送信する機能することを特徴とするセッション共有プログラム。

【請求項 7】

複数のアプリケーションを連携するシステムで、１又は複数のアプリケーションサーバにそれぞれのセッションを共有させるセッション共有システムを構成するユーザ端末において、

第１の通信処理プロトコルを用いて上記各アプリケーションサーバから第１のアプリケーションサービスの提供を受ける第１の機能処理手段と、

第２の通信処理プロトコルを用いて上記各アプリケーションサーバから第２のアプリケーションサービスの提供を受ける第２の機能処理手段と、

上記第１の機能処理手段又は上記第２の機能処理手段から取得した上記各アプリケーションサーバとの間で確立したセッション情報を所定形式に変換し、上記第２の機能処理手段又は上記第１の機能処理手段に与えるセッション情報連携手段と

を備え、

上記第２の機能処理手段又は上記第１の機能処理手段が、上記セッション情報連携手段からの変換セッション情報を含む要求メッセージを、上記各アプリケーションサーバに送信することを特徴とするユーザ端末。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１９】

かかる課題を解決するために、第１の本発明のセッション共有システムは、１又は複数のアプリケーションサーバが複数のアプリケーションを連携するシステムで、それぞれのセッションを共有するセッション共有システムにおいて、（１）第１の通信処理プロトコルを用いて各アプリケーションサーバから第１のアプリケーションサービスの提供を受ける第１の機能処理手段と、（２）第２の通信処理プロトコルを用いて各アプリケーションサーバから第２のアプリケーションサービスの提供を受ける第２の機能処理手段と、（３）第１の機能処理手段又は第２の機能処理手段から取得した各アプリケーションサーバとの間で確立したセッション情報を所定形式に変換し、第２の機能処理手段又は第１の機能処理手段に与えるセッション情報連携手段とを備え、第２の機能処理手段又は第１の機能処理手段が、セッション情報連携手段からの変換セッション情報を含む要求メッセージを、各アプリケーションサーバに送信し、各アプリケーションサーバが、要求メッセージに含まれる上記変換セッション情報と、今回の通信処理プロトコルにより生成したセッション情報との対応付けを行うことを特徴とする。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２０】

第２の本発明のセッション共有方法は、１又は複数のアプリケーションサーバが複数のアプリケーションを連携するシステムで、それぞれのセッションを共有するセッション共有方法において、（１）第１の機能処理手段が、第１の通信処理プロトコルを用いて各アプリケーションサーバから第１のアプリケーションサービスの提供を受ける第１の機能処理工程と、（２）第２の機能処理手段が、第２の通信処理プロトコルを用いて各アプリケーションサーバから第２のアプリケーションサービスの提供を受ける第２の機能処理工程と、（３）セッション情報連携手段が、第１の機能処理手段又は上記第２の機能処理手段から取得した各アプリケーションサーバとの間で確立したセッション情報を所定形式に変換し、第２の機能処理手段又は第１の機能処理手段に与えるセッション情報連携工程と、（４）第２の機能処理手段又は第１の機能処理手段が、セッション情報連携手段からの変換セッション情報を含む要求メッセージを、各アプリケーションサーバに送信する工程と

、（５）各アプリケーションサーバが、要求メッセージに含まれる変換セッション情報と、今回の通信処理プロトコルにより生成したセッション情報との対応付けを行う工程とを有することを特徴とする。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２１】

第３の本発明のセッション共有プログラムは、複数のアプリケーションを連携するシステムで、１又は複数のアプリケーションサーバにそれぞれのセッションを共有させるセッション共有プログラムにおいて、ユーザ端末を、（１）第１の通信処理プロトコルを用いて各アプリケーションサーバから第１のアプリケーションサービスの提供を受ける第１の機能処理手段と、（２）第２の通信処理プロトコルを用いて各アプリケーションサーバから第２のアプリケーションサービスの提供を受ける第２の機能処理手段と、（３）第１の機能処理手段又は第２の機能処理手段から取得した各アプリケーションサーバとの間で確立したセッション情報を所定形式に変換し、第２の機能処理手段又は第１の機能処理手段に与えるセッション情報連携手段として機能させ、（４）第２の機能処理手段又は第１の機能処理手段が、セッション情報連携手段からの変換セッション情報を含む要求メッセージを、各アプリケーションサーバに送信する機能することを特徴とする。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２２】

第４の本発明のユーザ端末は、複数のアプリケーションを連携するシステムで、１又は複数のアプリケーションサーバにそれぞれのセッションを共有させるセッション共有システムを構成するユーザ端末において、（１）第１の通信処理プロトコルを用いて各アプリケーションサーバから第１のアプリケーションサービスの提供を受ける第１の機能処理手段と、（２）第２の通信処理プロトコルを用いて各アプリケーションサーバから第２のアプリケーションサービスの提供を受ける第２の機能処理手段と、（３）第１の機能処理手段又は第２の機能処理手段から取得した各アプリケーションサーバとの間で確立したセッション情報を所定形式に変換し、第２の機能処理手段又は上記第１の機能処理手段に与えるセッション情報連携手段とを備え、第２の機能処理手段又は第１の機能処理手段が、セッション情報連携手段からの変換セッション情報を含む要求メッセージを、各アプリケーションサーバに送信することを特徴とする。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１１５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０１１５】

サーバ情報判定部４１１は、ユーザ端末１から受信した要求メッセージに含まれているサーバ情報に基づいて、要求メッセージの送信先を判定するものである。ここで、サーバ情報としては、例えば、アプリケーションサーバ２－１～２－３のＩＰアドレスなどが該当する。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１２４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0124】

ユーザ端末1では、応答メッセージを受信すると（ステップS45）、第1の実施形態と同様にしてセッション連携処理を行い（ステップS46）、電話機能部12が、SIPパラメータ形式に変換されたCookie情報とアプリケーションサーバ2-2のサーバ情報をSIP INVITEメッセージに付与して、ロードバランサ4に送信する（ステップS47）。

【手続補正8】

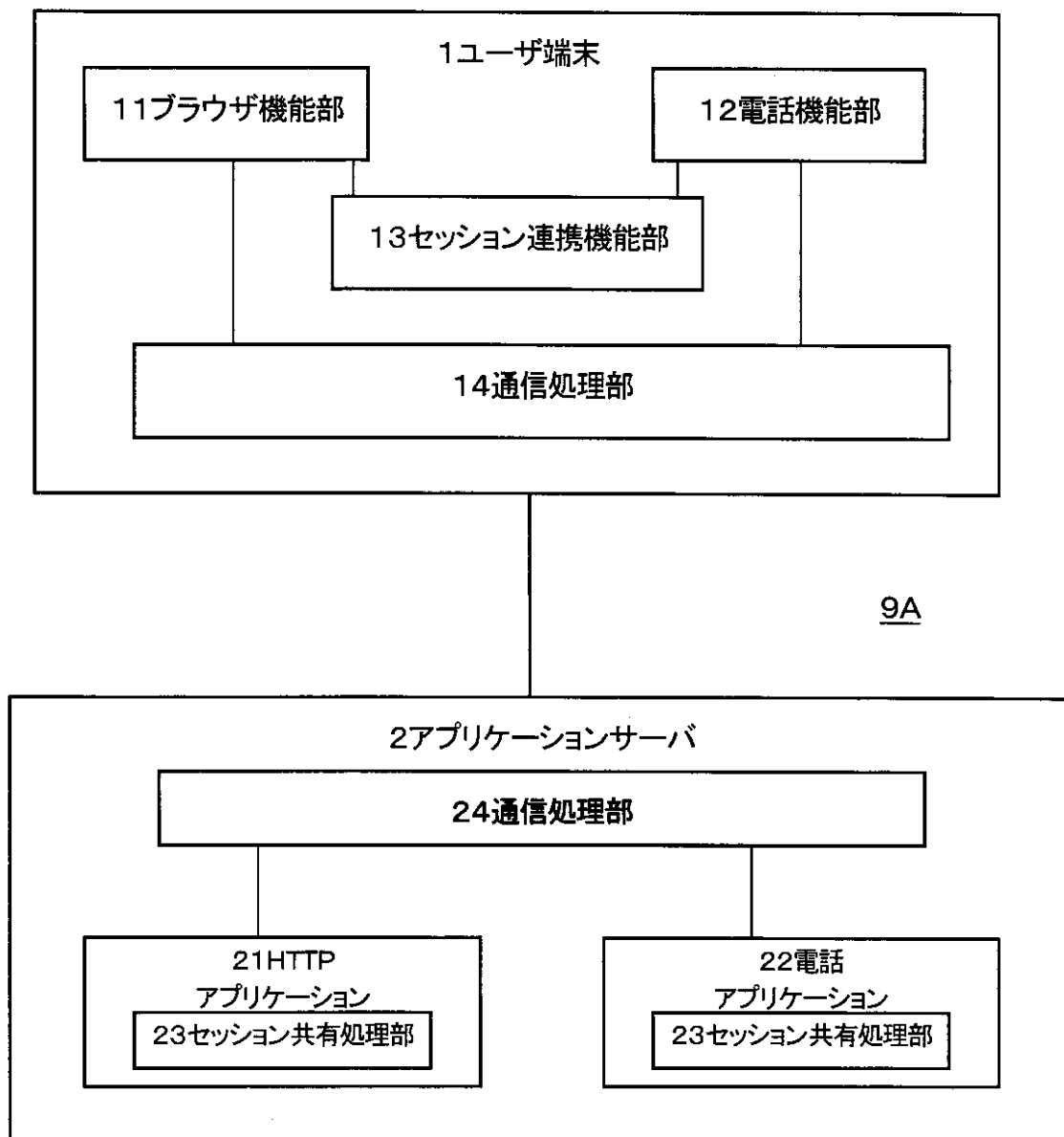
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図1】



【手続補正9】

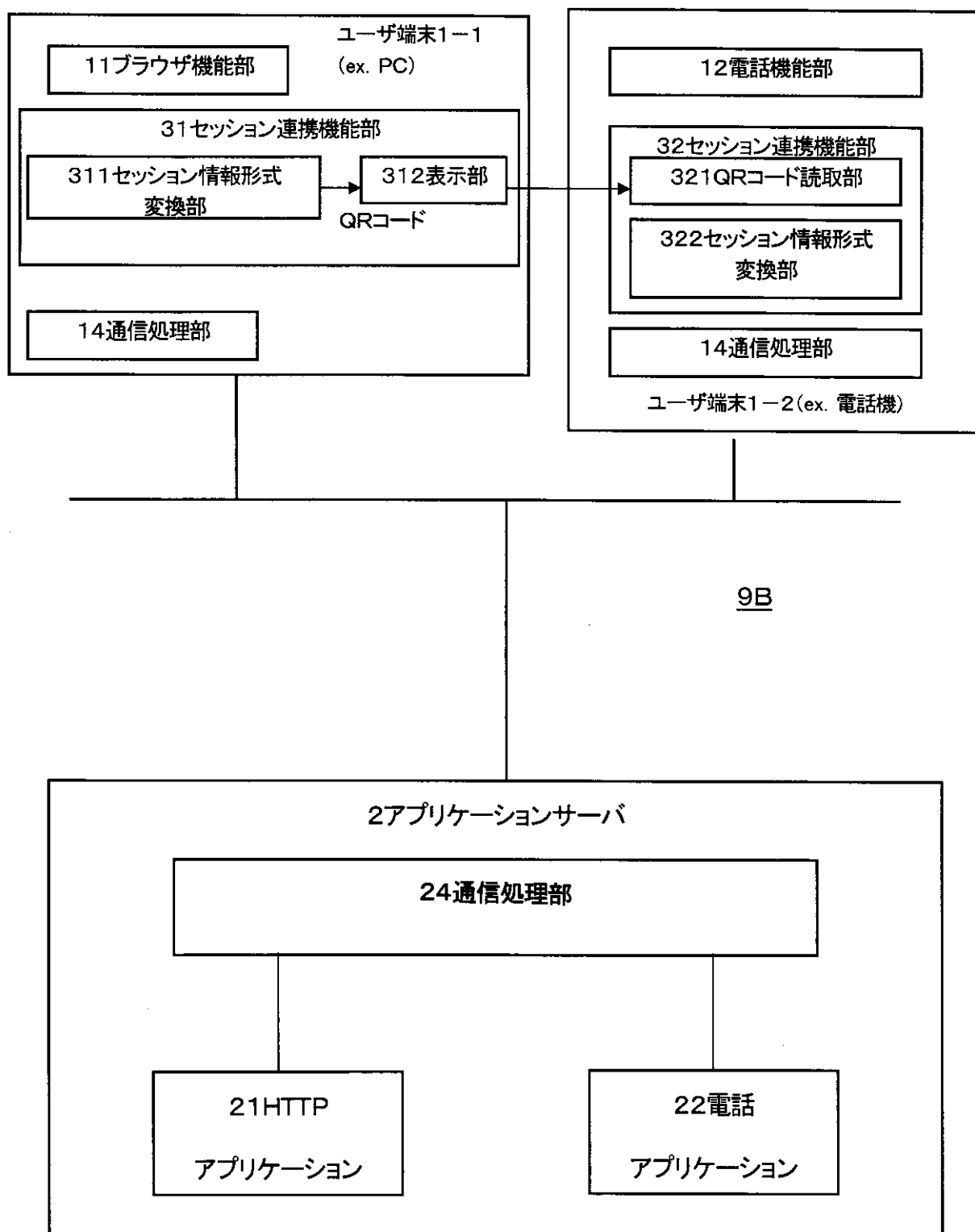
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図11

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1 1】



【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 12】

